



夏休みは図書館へ行こう!

夏休み
臨時開館

日時/8月20日・27日の月曜日(午前9時30分~午後5時)
※ゆいの森あらかわは、通常通り開館

ゆいの森あらかわ ☎(3891)4349

スペシャルおたのしみ会「こわ〜いおはなし会」

日にち/8月26日(日)
時間/午後7時~8時
場所/ゆいの森ホール
対象/区内在住・在学の小学生と保護者
定員/50組(申込順)
親子で工作会

「おはなしのでんしゃにのってしゅっぱつだ」

日にち/8月29日(水)
時間/午前10時~正午
場所/2階ワークショップルーム
対象/4歳以上から未就学児までの親子
定員/20組(申込順)
※申し込みは下記ホームページまたは1階総合カウンター

HP <https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>

南千住図書館 ☎(3807)9221

科学あそび「つくろう!くるくる絵あそび」
日にち/7月25日(水)

時間/午後3時~3時30分
場所/地下1階視聴覚室
対象/4歳以上の方(未就学児は保護者同伴)
定員/30人(先着順)
※直接会場へお越しください

体験型おはなし会「作ってみよう!マイ・ギター」

日にち/8月8日(水)
時間/午後3時~4時
場所/地下1階視聴覚室
対象/小学生以上の方
定員/20人(申込順)

尾久図書館 ☎(3800)5821

工作会「とびだすおばけをつくろう!」

日にち/8月1日(水)
時間/午後3時~3時30分
場所/2階おはなしのへや
対象/区内在住・在学中で、4歳以上の方(未就学児は保護者同伴)
定員/15人(申込順)



町屋図書館 ☎(3892)9821

親子で工作会「絵本カバーでバッグをつくろう!」
日にち/8月8日(水)
時間/午後3時15分~4時15分
場所/サイレントルーム
対象/4歳以上の方(親子または家族で参加)
定員/15組(申込順)

日暮里図書館 ☎(3803)1645

科学あそび「モビルをつくろう!」

日にち/8月1日(水)
時間/午前11時~11時30分
場所/地下1階おはなしのへや
対象/4歳以上の方(未就学児は保護者同伴)
定員/15人(申込順)

※参加費はすべて無料です。
※申し込みが必要なのはすべて7月21日(土)から受付開始です。ゆいの森あらかわは1階総合カウンターまたはホームページで、その他の図書館はカウンターまたは電話にて



各区立図書館では、夏休みに子どもたちが本に親しめるよう、いろいろな行事を行います。

司書さんのおすすめ!
この夏、読みたい3冊

相澤めぐみさん
第六瑞光小学校教員

「フィーフィーのすてきな夏休み」

毎日、大いそがしのお母さんネズミ。そんなお母さんに、子どもたちとチュウチュウどおりのなかまたちが、とってもすてきなプレゼントをするんですよ!



エミリー・ロッド/作
さくまゆみこ/訳
たしろちさと/絵
あすなろ書房

神谷裕子さん
第二日暮里小学校教員

「コンピューターってどんなしくみ?」

やりたいことを実現するための強い味方になってくれるコンピューター。その難しそうなくみをわかりやすく解説して、仲良くなれる手助けをしてくれる本です。



村井純、佐藤政明/監修
誠文堂新光社

上原樹代さん
南千住第二中学校教員

「15歳の寺子屋 ゴリラは語る」

ゴリラの家にホームステイを続けた著者が、サルよりも人間に近く、共通の祖先を持つ彼らから思春期の戸惑いの原点を解き明かします。霊長類ヒト科必読の1冊です。



山極寿一/著
講談社

Topics

全国赤十字大会で活動報告を行いました

5月16日、南千住第二中学校レスキュー部部長の小林正英君が、日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、名誉副総裁皇太子妃殿下、秋篠宮妃殿下、寛仁親王妃信子殿下、高円宮妃殿下ご臨席のもと、明治神宮会館で行われた全国赤十字大会で、地域防災活動の取り組みについて実践活動報告を行いました。式典終了後に小林君は奉送(お見送り)に立ち会い、皇后陛下並びに各妃殿下より活動に対する励ましや報告に対するお褒めのお言葉を頂きました。

また5月25日には、西川区長に全国赤十字大会の報告をしました。



提供: 日本赤十字社



西川区長に報告をする小林君

あらかわ 今昔ものがたり

【あらかわの歴史と伝説】

その118 あらかわ名物① ~千住の鰻と雀焼き~

毎日暑い日が続くね。こんな時には、スタミナのある物を食べるのが一番だね。夏バテ防止のご馳走といえば、そうそう、鰻の蒲焼! 「土用の丑の日」(今年は7月20日)に食べると夏バテしないといわれてきて、テレビのニュースでも鰻屋さんの行列を見かけるよね。

江戸っ子は川魚が好き

意外に思うかもしれないけれど、昔、江戸っ子は、海で獲れる魚だけでなく川で獲れる魚(川魚っていうんだ)を良く食べていたんだよ。何々、「マグロの方が好きだし、スーパーでも売っていないって?」確かに、今はそうだね。でも、江戸っ子は、鰻・鯉・鮒・ハゼなどを好んで食べたんだって。日光道中治いの千住宿には、川魚問屋が何軒もあった。周辺の農村だけでなく、水戸街道沿いの手賀沼・印旛沼、霞ヶ浦辺りで獲れた鰻・鯉等の川魚を扱っていたそうだ。川魚を調理して売る店もあり、繁盛していたんだって。

執筆/荒川ふるさと文化館 館長



鰻なら小塚原の松屋

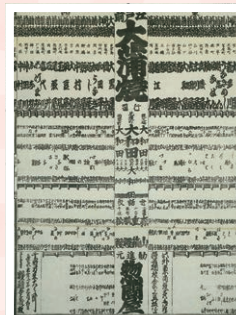
千住宿には良い鰻を商う問屋さんが多かったから、美味しい鰻屋さんが何軒もあった。江戸の売れっ子作家・十辺舎一九さんがお勧めの鰻屋は「奥羽一覽道中膝栗毛」という本にも登場する小塚原(今の南千住5・6・7丁目辺り)の松屋だ。今はもう無いけど、江戸時代の鰻屋番付に取り上げられるほどの人気だったそうだよ。

千住名物・雀焼き

何といっても人気だったのは「雀焼き」。雀と言っても空飛ぶ雀を焼いた料理ではない。荒川(現、隅田川)で獲れた質の良い鮒を、甘辛く炊き上げた佃煮のことなんだ。千住大橋の両側にお店があり、北側(足立区)では鮒甚、鮒平等、南側(荒川区)では素盞雄神社の門前にあった亀鉄さんが有名だったんだって。

ほかにも、あらかわには名物があるよ。夏休みに調べてみてはどうか。

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



見立番付「江戸前大蒲焼」(荒川ふるさと文化館蔵)